



Matsunaga Head Line News

[マツナガ・ヘッドライン・ニュース]

〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075

MATSUNAGA 感 動 創 造 建 設 会 社

2020年8月発行 発行元:松永建設 発行人:松永大祐
www.matsunaga.gr.jp

2020 Summer Vol.41

[インタビュー] Interview with Matsunaga Staff

現場のチカラ。

松永建設スタッフの真の姿に迫るスペシャルインタビュー



C O N T E N T S

〔インタビュー〕 Interview with Matsunaga Staff

現場のチカラ。

松永建設スタッフの真の姿に迫るスペシャルインタビュー

- P02 〔PROPERTY〕 竣工物件・危険物倉庫
- P03 竣工物件
- P05 〔INTERVIEW〕 畠中宏毅／飯村雄二
- P06 〔TOPICS〕 TKRI Tatsuya Kataoka Racing Invitation
- 〔COLUMN〕 松永社長の男気コラム



株式会社松永建設 〒339-0043 埼玉県さいたま市岩槻区城南五丁目6番6号 TEL:0120-980-633 FAX:048-798-0075 www.matsunaga.gr.jp

PROPERTY 〔竣工物件〕

MKストレージ 危険物倉庫・竣工物件

□ お問い合わせ／営業本部 Tel:0120-980-663



▶ 草加事業所危険物倉庫新築工事 ◀

〈発注者：ソマール株式会社様〉

DATA

- 建設地:埼玉県草加市 □ 構造:地上1階、S造 □ 用途:危険物倉庫
- 建築面積:303.00㎡ □ 延床面積:273.00㎡

▶ 千葉八街倉庫棟新築工事 ◀

〈発注者：株式会社エクシング様〉

DATA

- 建設地:千葉県八街市 □ 構造:地上1階、S造 □ 用途:危険物倉庫
- 建築面積:893.75㎡ □ 延床面積:893.75㎡

PROPERTY [竣工物件] 松永建設が手掛けた竣工物件紹介



▶ スギ薬局 岩槻区上野貸店舗新築工事 ◀
〈 発注者：T様 〉

DATA	□ 建設地：さいたま市岩槻区	□ 構造：地上1階、S造
	□ 用途：物品販売業を営む店舗（ドラッグストア）	□ 建築面積：1018.89㎡ □ 延床面積：989.43㎡



▶ ベルティーセ新宿 ◀
〈 発注者：H様 〉

DATA	□ 建設地：東京都新宿区	□ 構造：地上9階、RC造	□ 用途：共同住宅
	□ タイプ：1LDK×19戸、3LDK×1戸オーナー住戸、4LDK×1戸オーナー住戸、計21戸	□ 建築面積：192.37㎡	□ 延床面積：1,307.96㎡



PROPERTY [竣工物件]



▶ 第一こんろ工場新築工事 ◀
〈 発注者：株式会社旭製作所様 〉

D A T A			
□ 建設地：さいたま市岩槻区	□ 構造：地上2階、S造	□ 用途：工場	
□ 建築面積：1,490.04㎡	□ 延床面積：2,777.84㎡		



▶ 日本デリバリーセンター上尾市物流倉庫 ◀
〈 発注者：株式会社日本デリバリーセンター様 〉

D A T A			
□ 建設地：埼玉県上尾市	□ 構造：地上2階、S造	□ 用途：倉庫・事務所・危険物庫	
□ 建築面積：2,770.71㎡	□ 延床面積：4,891.52㎡		

[インタビュー] Interview with Matsunaga Staff 現場のチカラ。

※新型コロナウイルス感染防止対策の為に十分な距離を取りインタビューさせていただきました。

Interview 01

置かれた立場で輝くためには
～厳しさと礼節を常に持つ～

常務取締役 建築部統括部長

畠中 宏毅

Hiroki Hatakenaka

私は松永建設に入社して37年目で、現在は建築関係の担当役員として、本社と東京支店を管轄しております。建築案件の約70%を設計施工が占めており、お客様の立場に立ち協力し合い事業成立させることが仕事だと思っています。やりがいには事業成立した際のお客様の笑顔。その笑顔を見ると、私も最高の喜びを感じております。『明るく素直に』これが基本的なモットーです。最近では、加えて『置かれた立場で咲きなさい。』という言葉大切にしています。どんな立場でも輝くことが大切です。

仲の良い仕事仲間でも、お互いに厳しさと礼節が必要であり、部下への指導をする際にも、時には厳しさが必要であると思います。

今までに担当して印象に残っている現場は3つあります。1つ目は入社4年目に所長になって、最初に担当した施工現場です。自分で全てを任せていただいた現場。定例からお金の管理まで。本当にやり遂げた時は、達成感で満ち溢れていました。もう1つは私が結婚し

た早々に単身赴任でつuit中目黒の個人宅の現場。半年くらい泊まりこみでガムシャラに取り組み、やり抜きました。今ではもうできないですね(笑)最後の一つは、当社創業以来の大型案件である配送センターの現場。非常に短い工期での現場。お客様と途中、変更など色々ありましたが、最後はお客様から『御社に依頼をしてよかった。』その言葉をいただけて、全ての苦労が消し去るくらい嬉しかったのを覚えております。

全ての状況を楽しむこと。その為には、いい意味で開き直り、全てを自分一人で抱えずに仲間を頼ること。自分で考えを持って、どんなことでも質問をすること。指示だけを待たずに、自分発信で全て行動につなげることが大切だと思っています。

お客様の立場に立って物事を考えて全ての業務を取り組んでいくこと、モノづくりの会社として、品質・安全・工程管理のレベルアップをし、さらにお客様に喜んでいただきたいと考えております。



PROFILE
社歴:38年目
趣味:ゴルフ
好きな食べ物:
餃子、焼売

Interview 02

失敗を恐れず挑戦して
共に成長することが『ありがとう』に繋がる
～目標を共有し助け合う心～

入社して15年間ずっと充実した日々を過ごしてきた気がします。その理由は二つあり一つ目は、お客様からのニーズにしっかりと応えることができ、心から喜んでいただき、「ありがとう」という言葉が私の支えになっていること。もう一つは、上司や部下と同じ志を持って目標に向かい、最後までやり抜くことで共に成長し、目標を達成した時の充実感は何度味わっても格別なものです。

私が仕事をする上で大切にしていることは、いつも笑顔で、初心を忘れずに挑戦し続けること。それに加えてチームワークも大切にしています。

チームワークが良い組織は、個人では成し得ない規模の仕事で成果を成し遂げることができ、自分にはない能力を持った仲間と仕事を一緒にすることで、最高のパフォーマンスを発揮できます。その為にチーム全員が明確な目標を共有できる環境づくりを大切にしています。チームワークの良さが、お客様からの評価にも繋がり、仕事を楽しく感じることができると考えています。

自分が携わった現場を振り返ると、全ての

現場が印象深く記憶に残っており、その中で順位をつけることは難しく、印象深い経験ばかりでした。年間数百件という現場を施工していますが、どの現場も大変で、その分全て印象深い現場です。これまでお客様や仲間(社員)と苦楽を共に乗り越え、語りだしたらキリがないくらいです。

今までの経験を経て部下や仲間たちに伝えたいことは、失敗を恐れず挑戦し続けてほしいということ。私自身も多くの失敗を経験し、今があります。一日一日を大切に、自分の成長にワクワクできる人を目指してほしいです。

今後の目標としては、お客様から「必要とされる会社」を目指すことは変わりません。しかし時流は早く、変化を捉えることが今後も難しくなる中で、必要とされる企業を目指すことは容易ではありません。ですが、今まで我々が培ってきた経験をお客様の為に最大限に活かし、お客様と共に成長できることで、松永建設グループの経営理念である「我々はみんなで強くて良い会社をつくる」を目指していきます。

今後もお客様に「ありがとう」と言っていただけることが、我々の目標であります。



株式会社 丸忠産業 部長代理

飯村 雄二

Yuji Iimura

PROFILE
社歴:16年目
趣味:サッカー
好きな食べ物:
お寿司

株式会社 丸忠産業

□本社 〒339-0031 埼玉県さいたま市岩槻区飯塚1000番地
TEL:048-798-2311(代表)

□再生骨材工場/丸忠合材センター
〒339-0061 埼玉県さいたま市岩槻区大字岩槻3573-2
TEL:048-796-5365



東京都浅草から近くに位置する台東区蔵前の現場。大手通信事業局舎の耐震工事用の足場施工。高所での作業の為に安全を確保し、現場作業をスムーズに進める為スタッフ一丸となって各詳細項目のチェックをする。

TOPICS [トピックス]

TKRI [Tatsuya Kataoka Racing Invitation] を松永建設は応援しています。



片岡 龍也
Tatsuya Kataoka

1979年生まれ、愛知県出身。カートからレースを始め、スーパーGT、スーパー耐久などで活躍する日本を代表するレーシングドライバー。



日本で一番の人気を誇るスーパーGT選手権で三度のシリーズチャンピオンを獲得するなど長年にわたり大活躍されている片岡龍也選手が立ち上げたレーシングチームTKRI (Tatsuya Kataoka Racing Invitation) を松永建設は応援しています。

TKRIは、今シーズンスーパー耐久シリーズに参戦予定です。TKRIのコンセプトは、レース活動を通じて、若者に車を操る楽しさと正しく安全な運転を促すこと。片岡選手曰く、「参加型のスーパー耐久レースへ参戦し、プロの技術をアマチュアレーサーへ正しく伝え、安全に参加し、真剣の中にも楽しむ部分も忘れない、そんなチームを目指しています。その取り組みを理解し、共感するジェントルマンドライバー、協賛企業と一体となり感動と興奮を味わいたいです。」

今シーズンは、スーパー耐久シリーズ5戦にAMG GT4車両で参戦する予定です。是非、皆さんもサーキットでTKRIチームの応援をお願い致します。

COLUMN [コラム]

松永社長の
男気コラム

「この環境だからこそ生まれる新しいカタチ」

この原稿を書いている7月現在においてもコロナ感染が日々増加しており、先行き不透明な状況が続いています。心身ともにギリギリの中で闘う医療従事者の方々には深い敬服と感謝の思いでいっぱいです。

弊社においても、毎朝全社員の検温、工事現場作業員への非接触型体温計による検温、感染検査キットによるチェック、御来客様向けのソーシャルディスタンス対応など出来る限りの対策を継続しています。

毎月社員一同が会し開催している全体朝礼を動画配信に切り替えたり、毎年恒例となった社員全員参加で盛り上がる岩槻祭も今年は中止になるなど、コミュニケーションの機会も少なく、寂しい限りですが、万全の策を講じ、一刻も早く日常生活へ戻ることを望んでおります。

このような状況下で、業績的に厳しい企業も多くある反面、業績を伸ばしている企業もあります。自粛により自宅で過ごすことが多くなったことによる食料品ならびに生活必需品需要の拡大、通信販売の多用化、弊社で商品化した危険物倉庫への問い合わせの中で、アルコール消毒液の原液や在庫品の保管ニーズもその一つであります。

また、オフィスのあり方も今回の在宅勤務導入により大きく変わるものと思われます。全員が同じ場所同じ時間帯に一斉に通勤する必要もなく、都心の地価の高い立地にオフィスを構える必要性もなくなったとの見解も聞きます。取引先企業様の中には、在宅勤務を今後も定常化され、2フロア借りていたオフィスを年内に1フロアに縮小される予定との話も聞きました。今回

のコロナ感染対策が今後の働き方、オフィスのあり方を大きく変えるきっかけになったものと思われます。

不動産実需の動向にも大きな変化が生まれるとともに、今後、テレワーク用個人向け小規模レンタルオフィスなどの需要も出てくるものと予測しています。環境の変化、社会ニーズを的確に捉え、お客様へ提案する企業であること。どんな時代になっても必要とされる企業としてあり続けること。こんな情勢だからこそ、改めて痛感する日々であります。

これからも社員一同、感動創造建設会社として精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役社長
松永大祐

